

レスリング

◆フォーデイズ杯第18回全日本女子オープン選手権大会

日程：10/11（土）～10/12（日）

場所：焼津市総合体育館（静岡県焼津市）

シニアの部に出場した吉川華奈選手（帝京高校）が62kg級で2位、女子50kg級では江坂萌那選手（帝京高校）がベスト16となりました。

U17の部では、内田菜楓選手（帝京高校）がベスト8、田中結選手（帝京高校）が57kg級でベスト16でした。



写真：日本レスリング協会

出場した選手たちと吉村コーチ

卓球

◆WTT中国ユーススマッシュ

日程：10/3（金）～10/9（木）

場所：北京・中国

WTT（World Table Tennis）が主催するユース大会の最高峰に位置付けられる本大会で、小塩悠菜選手（星槎国際高校）がU19女子シングルスでベスト16になりました。渡部民人選手はU19男子シングルス、岡田蒼空選手（成立学園中学）はU15男子シングルス、花沢夏琳選手（星槎中学）はU15女子シングルスで、それぞれグループリーグ敗退となりました。

◆WTTユースコンテNDER ポドゴリツァ

日程：10/13（月）～10/16（木）

場所：ポドゴリツァ・モンテネグロ

男子シングルスでは、U19にて渡部選手と岡田選手が共に3位入賞、U17では2選手ともベスト8の成績を収めました。

女子シングルスでは、香取選手がU19ではベスト32でしたが、U17で3位となりました。花沢選手は、U17で3位、U15で優勝と、2つの部で入賞を果たしました。

◆WTTユーススターコンテNDER ポドゴリツァ

日程：10/17（金）～10/19（日）

場所：ポドゴリツァ・モンテネグロ

前戦に続いて、4選手が1つ上のランクとなる本大会に出場し、岡田選手がU15男子シングルスで2位となりました。U19では男子シングルスで渡部選手がベスト8、女子シングルスで香取選手と花沢選手がともにベスト16でした。花沢選手はU15女子シングルスにも出場し、ベスト8の結果でした。

SENDER & WTT YOUTH STAR CONTENDER VERDE COMPLEX



写真：日本卓球協会

WTTユースコンテNDER ポドゴリツァにて
U17女子シングルス3位となった香取選手（左）と花沢選手（右）

フェンシング

◆北海道カデサーブルランキングマッチ

日程：10/4（土）

場所：千歳市開基記念総合武道館（北海道千歳市）

2025年度FJE（FEDERATION JAPONAISE D'ESCRIME）ランキングで、カデ女子サーブルのポイント対象国内大会となる本大会に、世利藍子選手（成立学園高校）と宇都宮玲奈選手（北区立稲付中学）が女子サーブル個人で出場。宇都宮選手が14位、世利選手が15位となりました。この結果、10/6付のランキングは宇都宮選手が9位、世利選手が10位となっています。

◆第15回全国サーブルチャレンジカップ北海道大会

日程：10/5（日）

場所：千歳市開基記念総合武道館（北海道千歳市）

大学生も多く参戦した本大会で、ジュニア女子サーブル個人に出場した野元麻央選手（星槎国際高校）が見事優勝しました。同じくジュニア女子サーブル個人にて、世利選手は7位、宇都宮選手は38位となりました。

ライフル射撃

◆第79回国民スポーツ大会

日程：10/4（土）～10/7（火）

場所：能勢ライフル射撃場（大阪府能勢町）

「わたSHIGA輝く国スポ」を大会愛称に掲げて開催された本大会に、3選手が出場。エアライフルでは、少年女子AR60WJにて川村悠夏選手（成立学園高校）が昨年度の3位から1つ順位を上げて見事2位になり、阿部暁梨沙選手（成立学園高校）が13位となりました。少年女子AR30WJでは、川村選手が9位、阿部選手が10位と、残念ながらともにファイナル出場を逃しました。

ビームライフルでは、佐藤美優選手（成立学園高校）が少年BRMixJで4位入賞、少年女子BR60WJで12位の成績を収めました。



左から三木コーチ、佐藤選手、川原楓選手（7期生）、高木葵選手（11期生）、井浦一希選手（9期生）、山田咲来選手（14期生）、川村選手、大塩勇斗選手（7期生）

ローイング

2025年度は在籍選手なし

アーチェリー

◆第79回国民スポーツ大会

日程：10/5（日）～10/7（火）

場所：愛荘町スポーツセンター（滋賀県愛荘町）

3選手が出場し、少年女子団体では上柳結加選手（都立足立新田高校）が滋賀県代表として見事優勝、滋賀県の2連覇の原動力になりました。福岡県代表の古庄千陽子選手（都立足立新田高校）は3位入賞、岐阜県代表の大井梨世選手（都立足立新田高校）はベスト16となりました。

少年女子個人では、大井選手が634点で見事優勝、古庄選手が7位、上柳選手が11位という結果でした。



少年女子個人にて優勝した大井選手（中央）

◆アーチェリーフェスティバル

日程：10/11（土）～10/12（日）

場所：岡崎中央総合公園（愛知県岡崎市）

園田走夏選手（サレジオ国際学園中学）が出場し、リカーブ30m女子個人で優勝、リカーブ18m団体でも優勝しました。

スピードスケート（連携）

◆第32回全日本距離別選手権大会

日程：10/24（金）～10/26（日）

場所：長野市オリンピック記念アリーナ（長野県長野市）

ワールドカップへの派遣選手選考となる距離別選手権部門で酒井夏羽選手（星槎国際高校）が女子500mで8位入賞となりました。

11/29（土）からイタリアのミラノで開催されるジュニアワールドカップ第1戦の派遣選手選考となるジュニア派遣選手選考部門では、新海彩花里選手（星槎国際高校）が女子500mで優勝、新海大輝選手（星槎国際高校）が男子3000mで2位などとなりました。

これらの結果、ジュニアワールドカップ第1戦に新海大選手と酒井選手がそれぞれ選ばれました。

【距離別選手権部門】

選手	成績
新海 大輝	男子1500m 11位、男子5000m 13位、男子マスタートレース 4位
酒井 夏羽	女子500m 8位

【ジュニア派遣選手選考部門】

選手	成績
中村 和平	男子1500m 6位
新海 大輝	男子3000m 2位
福島 希空	女子500m 8位、女子1000m 19位
西尾 友里	女子500m 3位、女子1000m 10位
新海 彩花里	女子500m 優勝、女子1000m 3位、女子1500m 3位



シニア選手との激闘の中、8位入賞を果たした酒井選手

JOC

◆前期あゆみ

JOCエリートアカデミーでは、競技力と人間力の2軸でアカデミー生の評価を行っています。前期となる4月～9月の振り返りを行いながら、後期の活動に役立ててもらいたいと思います。